



2012年3月期 第2四半期決算説明会

2011年11月11日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<http://www.nihonkohden.co.jp>

Fighting Disease with Electronics



第2四半期決算の概要 (連結)

1) 当第2四半期の決算概要

(単位: 百万円、単位未満切捨て)

	前第2四半 期累計 (2010/9)	当第2四半期累計(2011/9)		
		期初予想	実績	対前年同期増減率 (%)
売上高	52,526	56,500	55,297	5.3
国内売上高	43,124	—	45,663	5.9
海外売上高	9,401	—	9,634	2.5
営業利益	4,096	4,100	4,146	1.2
経常利益	3,867	4,100	3,836	△ 0.8
四半期純利益	2,609	2,700	2,308	△ 11.5

← 為替換算: 約△4億円(△4%)

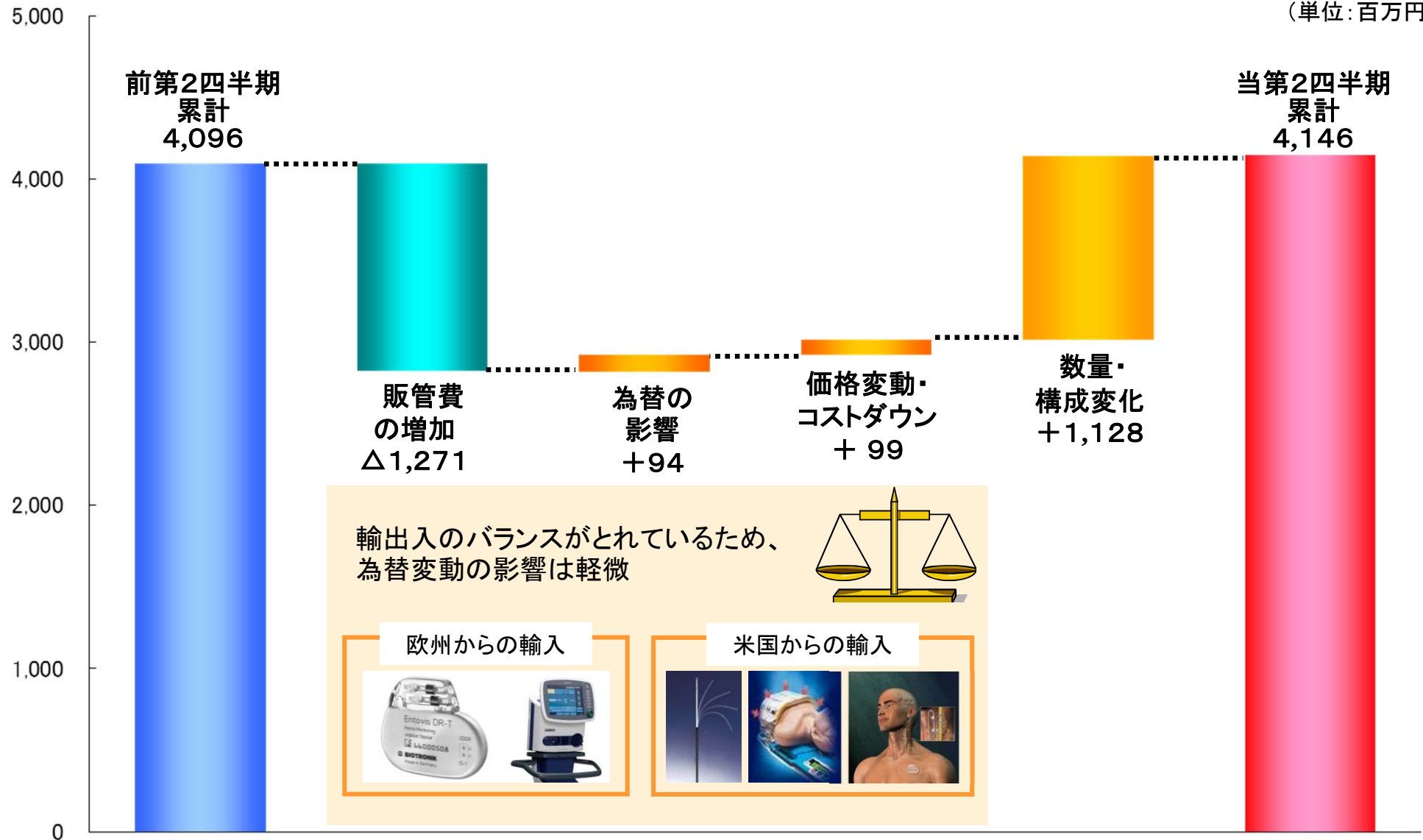
← 粗利率の低下: 50.4%→50.0%
販管費の増加: 前年同期比+5.0%

← 為替差損: 約4億円計上

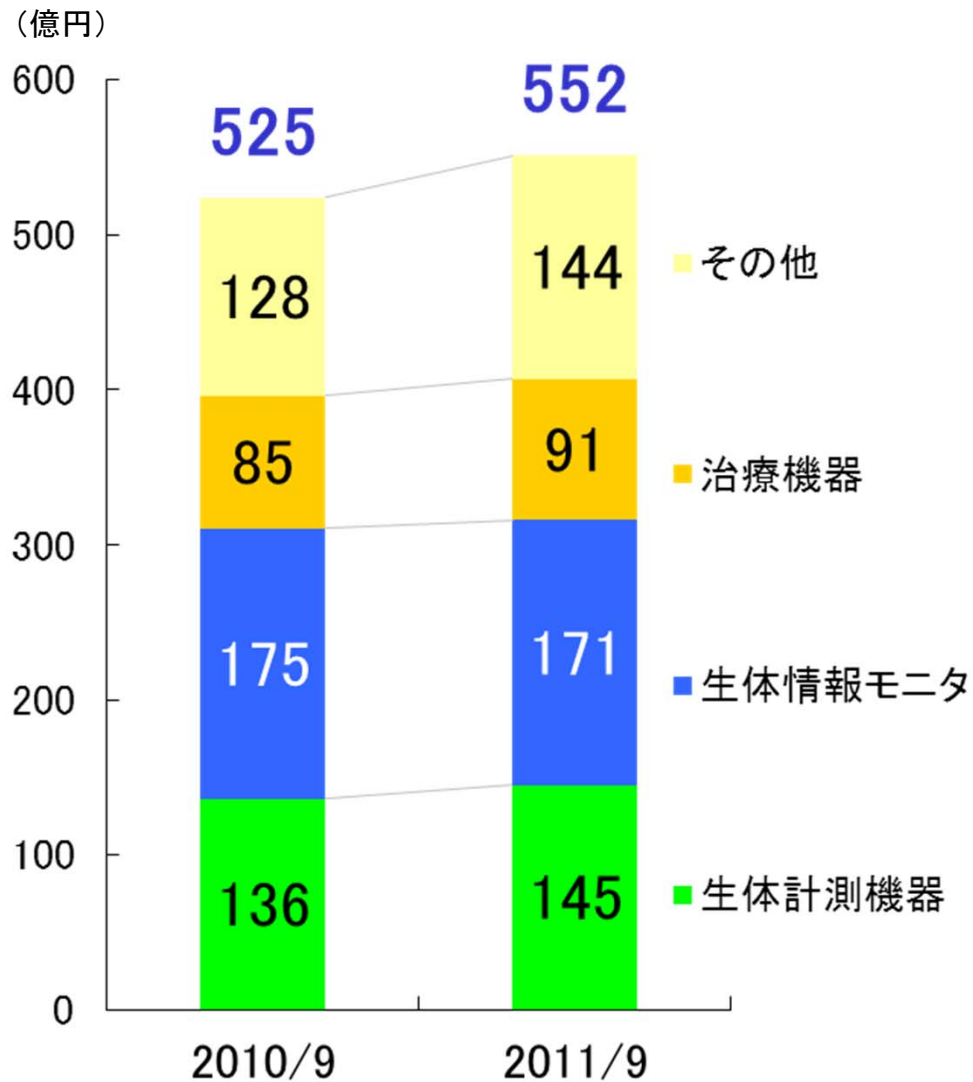
平均レート	(2010/9)	(2011/9)
1ドル	89	80
1ユーロ	113	116

2) 営業利益増減の要因分析

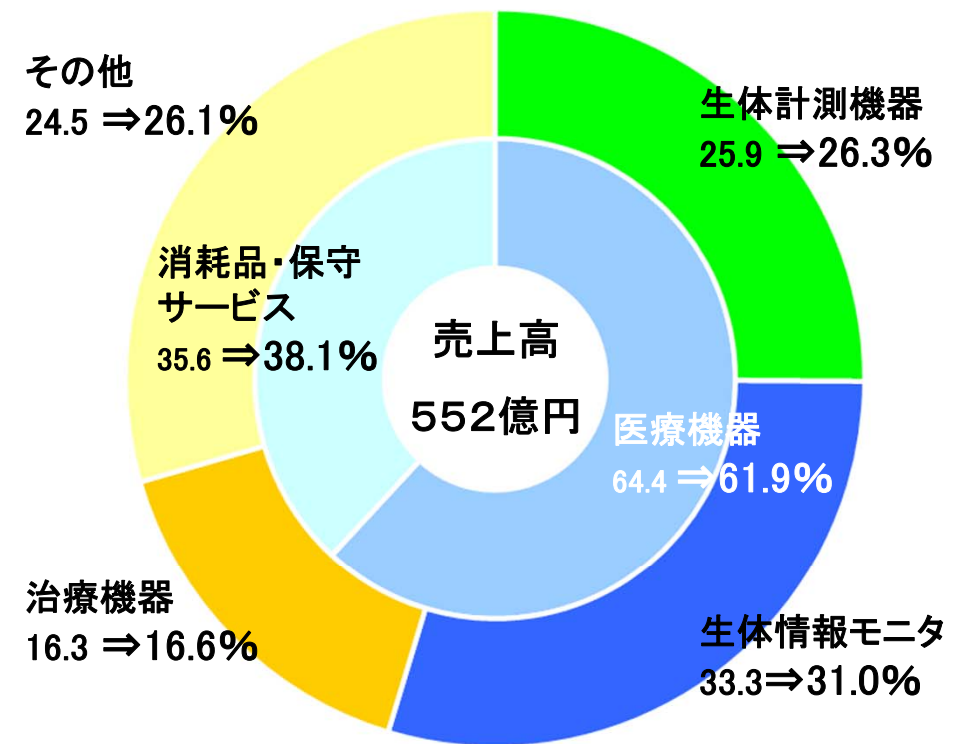
(単位: 百万円)



3) 商品群別売上高



商品群別売上構成比
(2010/9⇒2011/9)



3.1) 生体計測機器

(単位: 百万円)

	前第2四半期 累計(2010/9)	当第2四半期 累計(2011/9)	増減率(%)
脳 神 経 系 群	3,536	3,650	3.2
心 電 計 群	3,057	3,208	4.9
心臓カテーテル検査装置	3,557	3,676	3.3
そ の 他	3,474	4,033	16.1
生 体 計 測 機 器 合 計	13,625	14,570	6.9
う ち 国 内 売 上 高	11,083	11,855	7.0
う ち 海 外 売 上 高	2,542	2,714	6.8

※ その他には、診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。



脳波計 EEG-1200



心電計 ECG-1400



臨床用ポリグラフ RMC-4000

3.2) 生体情報モニタ

(単位: 百万円)

	前第2四半期 累計(2010/9)	当第2四半期 累計(2011/9)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	17,500	17,133	△ 2.1
うち国内売上高	12,988	12,860	△ 1.0
うち海外売上高	4,511	4,272	△ 5.3



BSM-6000
シリーズ



セントラルモニタ
CNS-6201



送信機
ZS-530P

3.3) 治療機器

(単位: 百万円)

	前第2四半期累計 (2010/9)	当第2四半期累計 (2011/9)	増減率(%)
医科向け除細動器	1,865	2,022	8.4
A E D	2,500	2,336	△ 6.6
ペースメーカー・ICD	1,550	1,880	21.3
人工呼吸器	965	1,011	4.8
その他の	1,698	1,933	13.8
治療機器合計	8,580	9,184	7.0
うち国内売上高	7,475	7,964	6.5
うち海外売上高	1,104	1,220	10.5
(参考)AED販売台数	12,500	11,400	△ 8.8
うち国内販売台数	10,500	10,500	0.0



AED-2100



心臓ペースメーカー Entovis DR



人工呼吸器HAMILTON-C2



迷走神経刺激装置

3.4) その他

(単位: 百万円)

	前第2四半期累計 (2010/9)	当第2四半期累計 (2011/9)	増減率 (%)
検体検査装置	2,902	3,235	11.5
変成器、画像診断装置、 研究用機器他	9,917	11,173	12.7
その他合計	12,820	14,409	12.4
うち国内売上高	11,577	12,982	12.1
うち海外売上高	1,243	1,426	14.8

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。



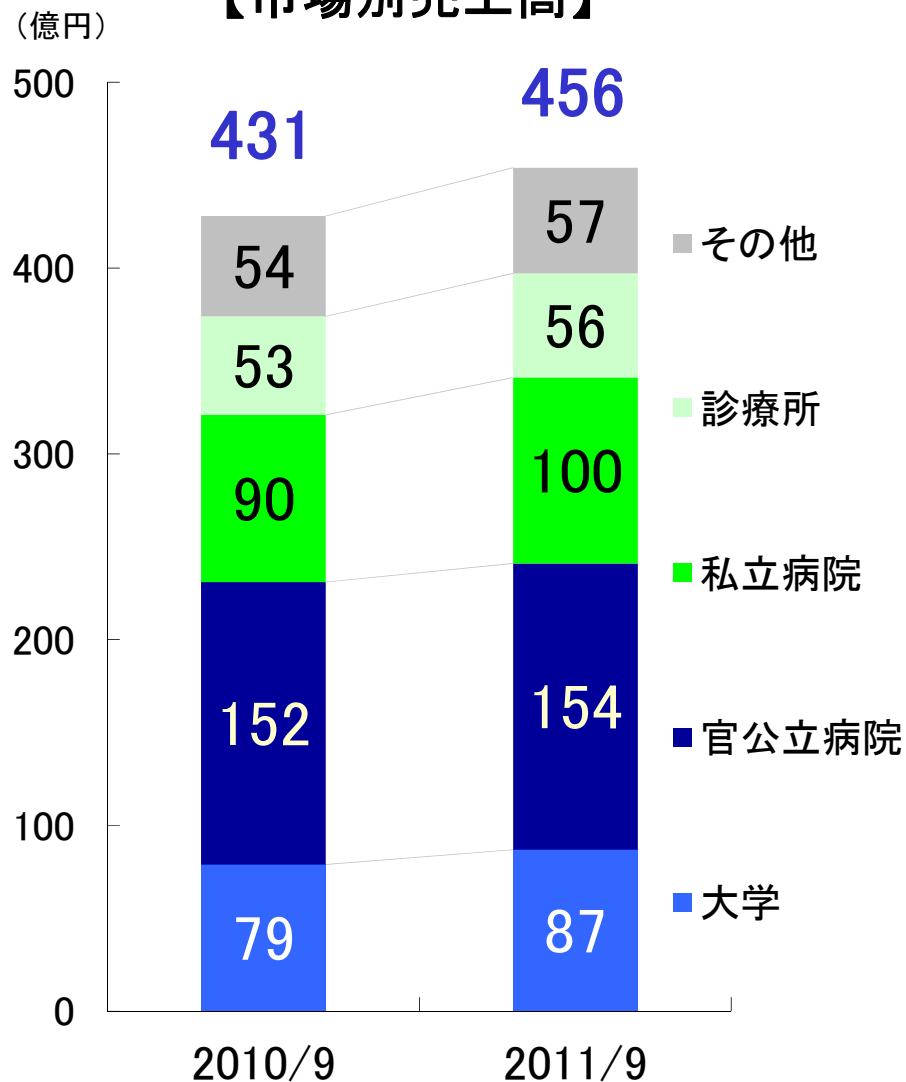
全自動血球計数器
MEK-6400



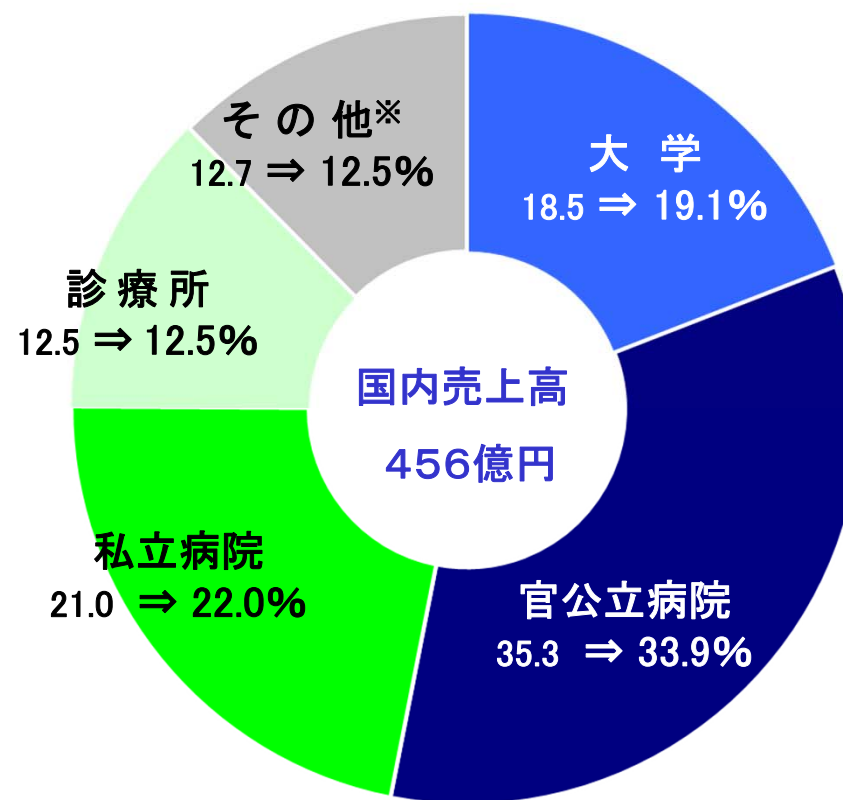
多チャネルテレメータシステム
WEB-1000

4) 国内売上高

【市場別売上高】



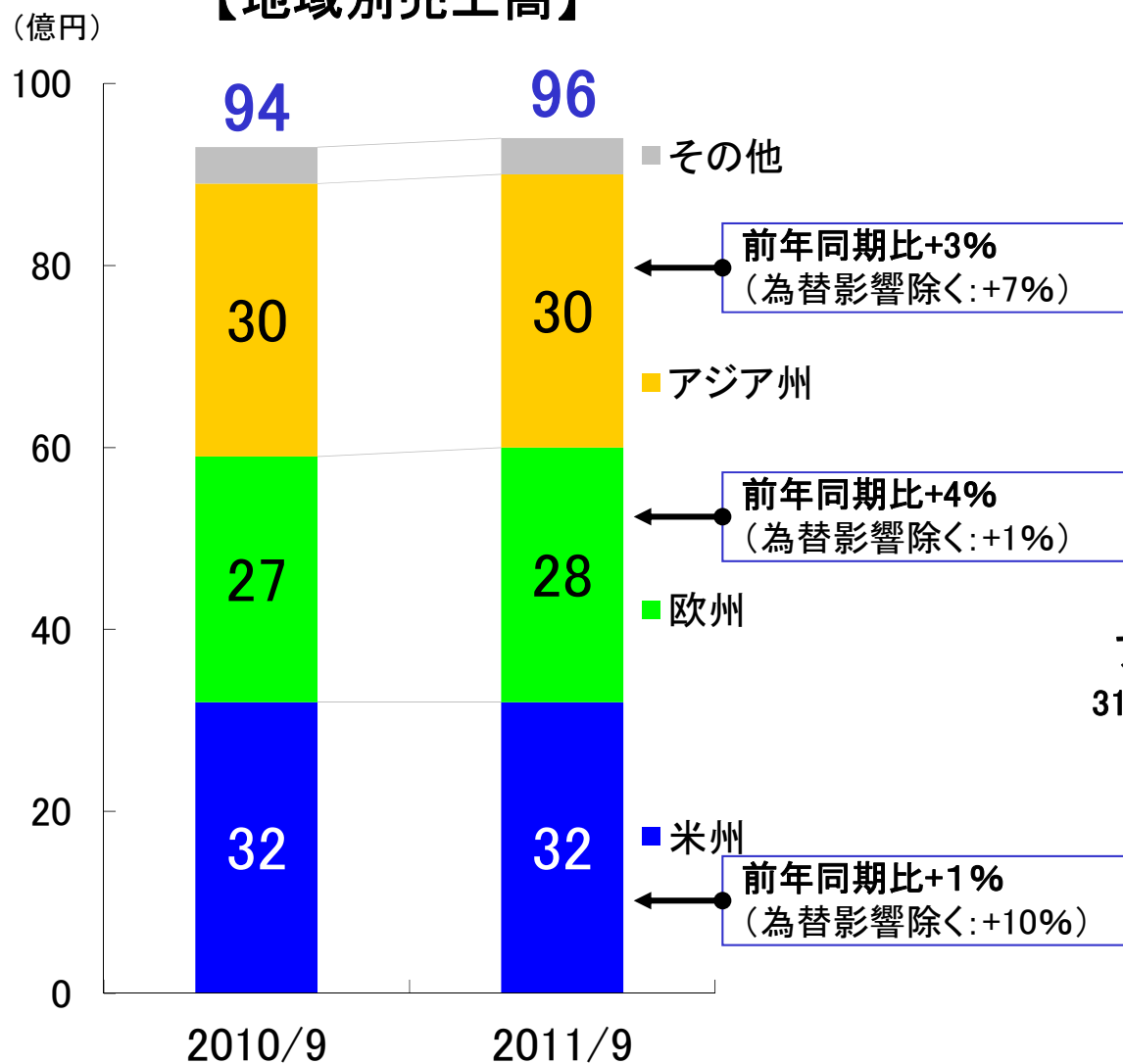
市場別売上構成比
(2010/9⇒2011/9)



※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

5) 海外売上高

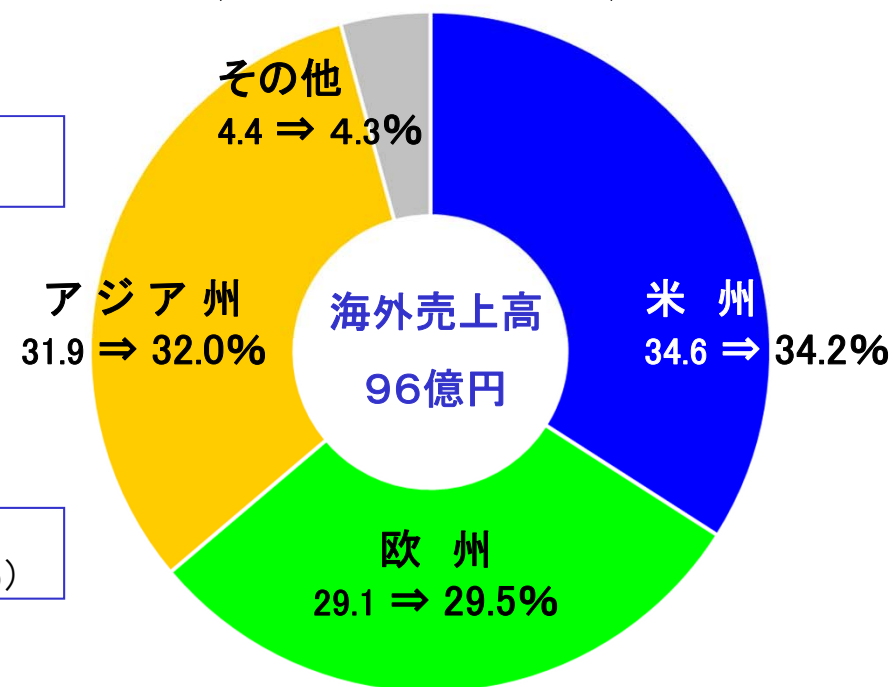
【地域別売上高】



海外売上高比率

2010/9	2011/9
17.9%	17.4%

地域別構成比
(2010/9⇒2011/9)



6) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 (2011/3)	当第2四半期末 (2011/9)	増減額
流動資産	75,366	72,046	△ 3,319
固定資産	17,129	16,726	△ 403
資産合計	92,495	88,772	△ 3,723
流動負債	29,673	24,853	△ 4,819
固定負債	528	642	114
負債合計	30,201	25,496	△ 4,705
純資産	62,294	63,276	982
負債・純資産合計	92,495	88,772	△ 3,723

上期末の取引に比べ
年度末の取引が多いため。
売上債権 △5,063
仕入債務 △2,582

7) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前第2四半期 累計(2010/9)	当第2四半期 累計(2011/9)	2011/3 前期実績	2012/3予想	
				期初	11月7日修正
設 備 投 資 額	1,441	935	1,804	2,700	2,600
減 価 償 却 費	1,248	1,296	2,694	3,200	3,000
研 究 開 発 費	2,279	2,628	5,105	5,400	5,400

●設備投資の上期実績 新製品の「型」、計測器、販促用製品 他
ERPシステム増強

●下期計画における主な案件
新製品の「型」投資、販促用製品、測定器・治具、ERP

通期の業績見通し

1) 経営環境

- ・欧米の景気減速が懸念されるものの、医療機器の需要は新興国を中心に底堅く推移。
- ・国内は昨年度の診療報酬プラス改定を受けて、急性期病院の設備投資は増加基調。

【当社海外事業のトレンド】

- ・米国は、堅調を維持。
ただし、医療制度改革や財政健全化策の動向に注意が必要。
- ・欧州は、一部地域で財政悪化懸念があるも、トルコ、ロシアが回復傾向。
- ・中国、インド、南米など新興国は成長が期待される。

【当社国内事業のトレンド】

- ・急性期病院市場を中心に好調。特に下期はモニタ商談が活発に。
- ・診療所市場も堅調。

2) 通期の業績見通し

(単位: 百万円)

	2011/3 前期実績	2012/3予想		増減率 (%)
		期初	11月7日修正	
売上高	113,380	120,000	120,000	5.8
国内売上高	93,046	96,000	98,000	5.3
海外売上高	20,333	24,000	22,000	8.2
営業利益	10,598	11,000	11,000	3.8
経常利益	10,569	11,000	11,000	4.1
当期純利益	6,573	7,100	7,100	8.0

海外売上高比率 17.9% 20.0% 18.3%

平均レート

1ドル	86円	85円	79円
1ユーロ	113円	110円	109円

震災の影響

当初の想定よりも軽微な状況

期初計画 △5億円

今回修正予想 △2億円

タイ洪水被害の影響

- ・タイからの部品供給の制約により、第4四半期に、一部製品の生産・供給に影響が出る可能性があります。
- ・代替調達しやすい部品が多く、業績への影響は限定的と見ていますが、現在精査中です。今回の修正予想には織り込んでいません。
- ・業績への大きな影響が判明した場合には、速やかに開示します。

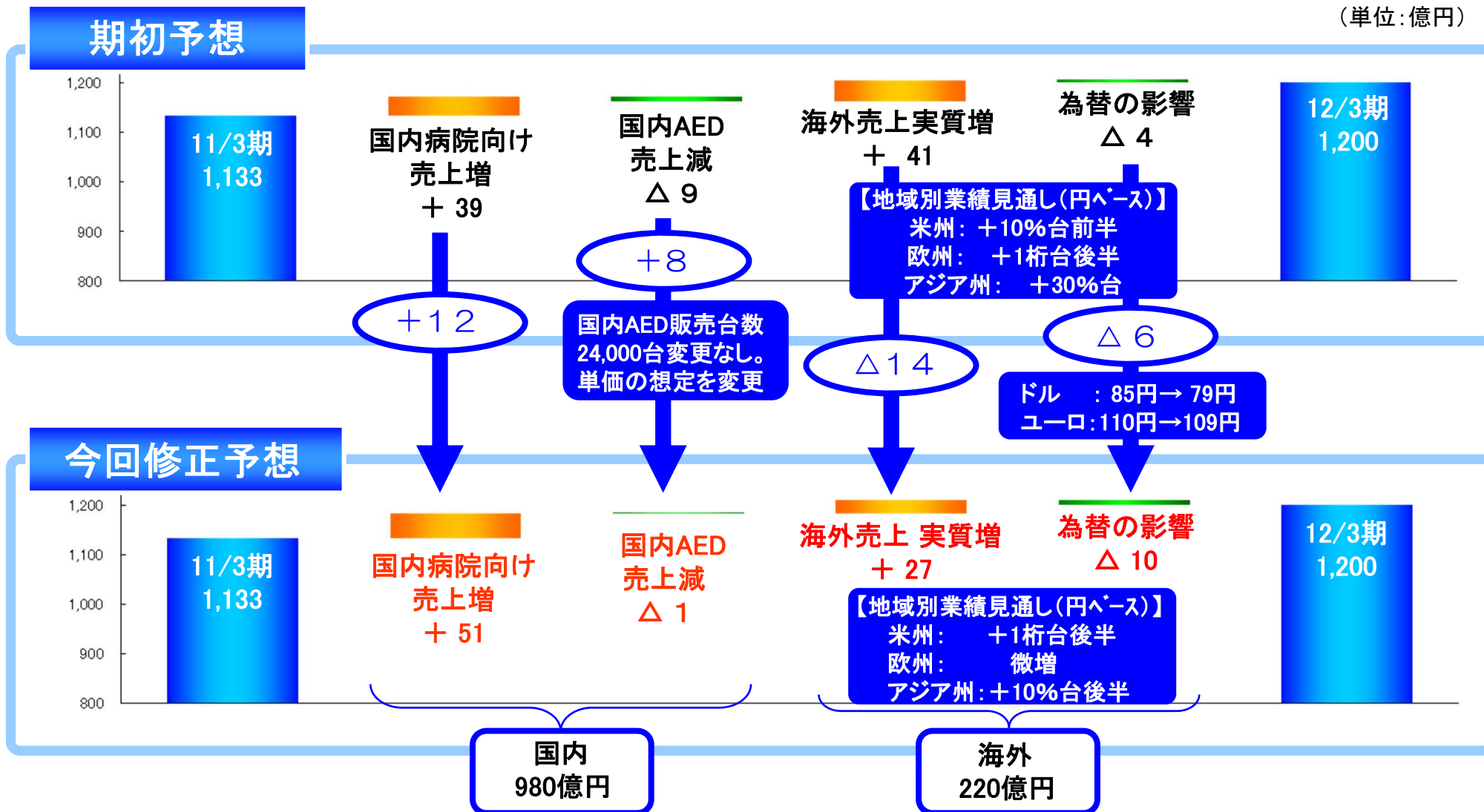
(下期)

78円
103円

3) 売上見通しの要因分析

【売上高】

(単位: 億円)



[参考]商品群別売上高見通し

(単位:百万円)

	2011/3 前期実績	2012/3予想		増減率(%)
		期初	11月7日修正	
生 体 計 測 機 器	28,189	29,600	30,000	6.4
生 体 情 報 モ ニ タ	37,274	41,050	39,750	6.6
治 療 機 器	19,073	19,700	20,150	5.6
そ の 他	28,843	29,650	30,100	4.4
売 上 高 合 計	113,380	120,000	120,000	5.8

(ご参考)

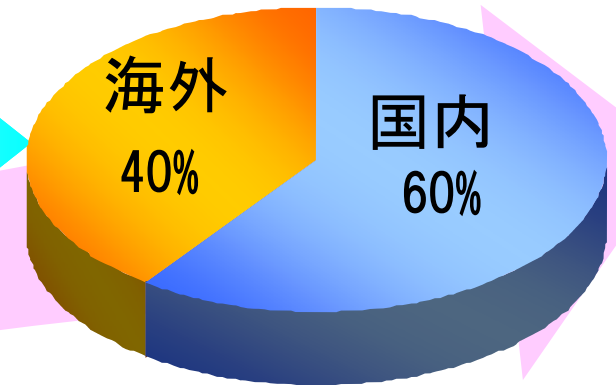
消 耗 品 ・ 保 守 サ ー ビ ス	40,236	42,500	43,800	8.9
---------------------	--------	--------	--------	-----

中期経営目標達成 に向けた戦略

1) 長期ビジョンと中期経営計画

長期ビジョン (2010/4～2020/3)

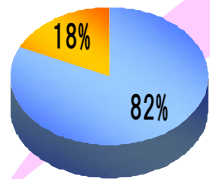
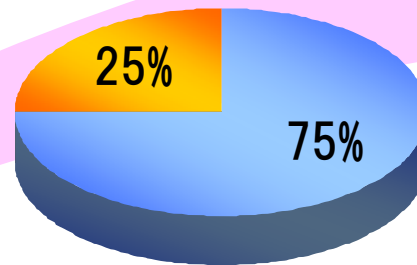
The CHANGE 2020
–The Global Leader of Medical Solutions–



中期経営計画

(2010/4～2013/3)

SPEED UP III



2010年3月期実績

売上高 1,070億円

営業利益 93億円

2013年3月期

売上高 1,300億円

営業利益 130億円

2020年3月期

売上高 2,000億円以上

営業利益 250億円以上

2) 中期経営計画 数値目標

	2010/3 実績	2011/3 実績	2012/3 見通し	2013/3 中期経営目標	3カ年 伸び率
売上高	1,070 億円	1,133 億円	1,200 億円	1,300 億円	21.5%
国内売上高	874 億円	930 億円	980 億円	975 億円	11.5%
海外売上高	195 億円	203 億円	220 億円	325 億円	66.0%
営業利益	93 億円	105 億円	110 億円	130 億円	39.5%
ROE	10.6%	10.9%		12.0 %	

地域別海外売上高

計画策定時の為替の前提: 1ドル90円、1ユーロ130円

米州	62 億円	68 億円	+1桁台後半	94 億円	49.2%
欧州	58 億円	60 億円	微増	88 億円	50.1%
アジア州	65 億円	62 億円	+10%台後半	130 億円	99.8%
その他	9 億円	11 億円		13 億円	43.2%

3)コア事業の拡大・強化

先進国市場

新興国市場

除細動器

心電計群

脳神経系
群

生体情報
モニタ

血球
計数器

センサ技術 (etCO2、SpO2、NIBP、esCCO、aEEG、etc.)

ITソリューション

センサ技術を
自前で持つ
唯一の
モニタメーカ

11/3-12/3期の主な新商品



2011年10月
発売(海外)



2011年度下期
発売予定

Polaris.one



Cardio Net

2011年1月 発売



中国開発
・生産

2011年度下期発売予定
(中国は2012年度発売予定)



2011年度下期
発売予定



2011年3月 発売



2011年度下期
発売予定

i) 脳神経系群

米国トップクラス病院の要求対応によるトップダウン戦略



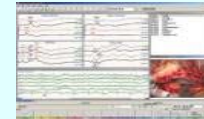
クリーブランドクリニック

- ・製品ラインアップを揃え他社との競合力を強化
- ・ネットワークシステム化による差別化

12/3期の取り組み



256チャンネルアンプ
2011年度下期
発売予定



Neuroworkbench
脳神経情報システム
順次アップグレード

脳神経分野で
世界トップクラス病院
の要求に対応した
製品の開発、向上

- ・米国市場での成功事例を海外に展開

世界トップクラス病院とのタイアップが、
東南アジア、中東の脳神経系商談に波及

脳神経分野のグローバルシェア拡大

4) 技術開発力の強化

当社の強みである

モニターメーカーで唯一自前のパラメータ技術

国内外のキードクターとの良好な関係

を最大限活用

12/3期の取り組み

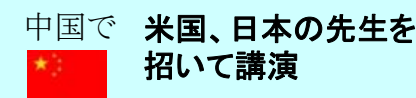
現地ニーズに合った「**医療安全**」に
寄与する商品の開発・提供



新しいパラメータの普及促進



先進国、新興国のドクター交流をお手伝い



当社独自の付加価値を提供

i)「医療安全」に寄与する商品 -日本市場-

患者さんの居場所をモニタで確認できる機能

日本初!

【例:トイレに設置した場合】

2011年9月発売

医療現場の課題

容態が悪化した患者さんの
居場所がわからない



解決策

①位置情報発信機
等をトイレに設置



②患者さんの送信機
が位置情報を受信し、モニタに送信



③モニタに
位置情報を表示



通常のGPSでは
難しい屋内
での位置の
把握が可能



ii)「医療安全」に寄与する商品 -米国市場-

一般病棟での医療過誤等を予防するためのモニタリング

米国初！

医療現場の課題

医療ミスが多く、
効率的な「医療の質
の向上」が急務に

- ・IHI(医療の質改善研究所)
主導の医療の質改善キャンペーン
(2006年～2008年)



- ・Preventable hospital injuries
(予防可能な院内発生の傷病)は
保険請求不可に(2008年10月から)

解決策

PrefenseTM

2008年5月発売

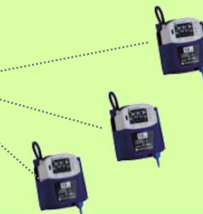
40台の送信機NTXと連携し、効率的な看護が可能な新しいコンセプトの集中モニタリングシステム



PrefenseTM



NTX



12/3期の取り組み



Holy Name Medical Center
2011年初めにPrefenseを導入。

- ・Holy Name Medical Centerの協力下、
 - ・Prefenseの成果を収集
 - ・施設見学会を実施
- ・有名病院への納入実績を作り、
関連病院への波及を目指す
- ・Prefense専任者を増加

iii) 新パラメータで生体情報モニタを差別化 -欧州市場-



(estimated Continuous Cardiac Output)

非侵襲で心拍出量を推定できる技術

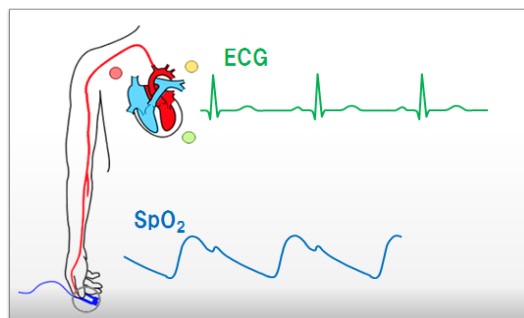
(心臓から送り出される血液量)

世界初!

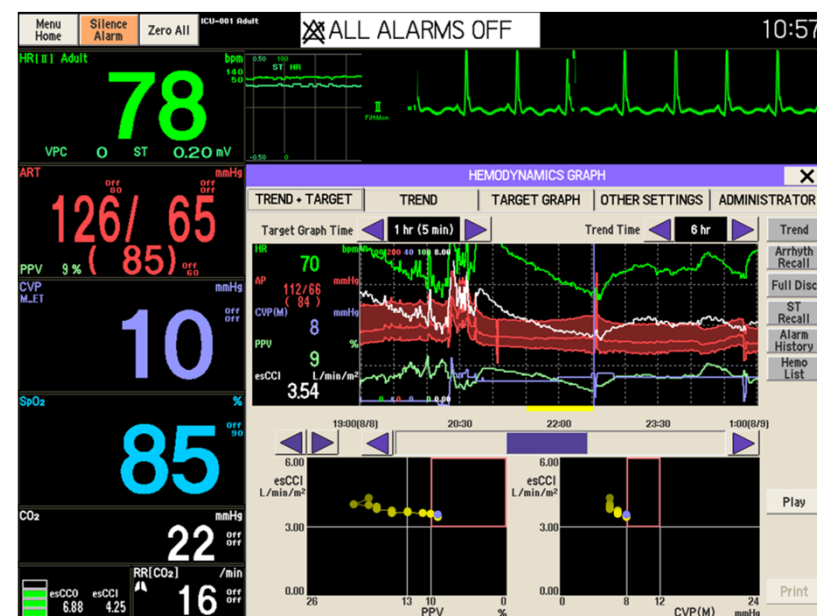


ベッドサイド
モニタに搭載

【esCCCO】 ルーティンでモニタリングされる心電図
とSpO₂を使って心拍出量を推定する
非侵襲の新しいパラメータ



- ・ 感染症の恐れがない
- ・ 痛みを伴わない
- ・ 新たなコードが不要で測定が簡単



欧州で臨床評価を進め、
先行発売

米国でも
臨床評価の準備中

5) 中国事業の強化

現地開発・生産ラインアップの拡充

7月末に中上位機種モニタの認証取得
→SFDA認証待ちの主力商品はゼロに



販売・サービスの強化

- ・内陸部に営業所新設
7月西安、9月成都
- ・サービスの迅速化
現地修理の範囲拡大
- ・中国VIPドクターとの関係強化



2011年
4月

米国の先生を
招いて筋電図
ワークショップ
開催



2011年
5月

中国睡眠学会
で日本の先生
の招待講演



中国の
筋電学会、
リハビリ学会、
睡眠学会で
の人脈づくり

6) 新興国市場の拡大

販売網の拡大

インドに販売拠点設立

2011年3月

- ・6月から営業開始
- ・地域別、製品別に代理店網を整備中

日本製
中上位機種

中国製
普及機種

インドSNK
製試薬

日本光電インディア

2次代理店

エンドユーザ

ブラジルに販売拠点設立

2012年1月に現地法人を設立し、
4月から営業開始の予定

主要22カ国へのフォーカス

(上位22カ国で新興国市場売上の3/4を占める)

主要代理店へのサポート強化

- ・拠点病院への出張サポート
- ・VIPドクターとの関係強化をサポート



2011年
9月

コロンビア
小児ICU学会で
セミナー実施



ベッドサイドモニタ (特にBSM-3000)の拡販



- ・新興国向け中上位機種
- ・一体型

2011年3月 発売

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】経営企画室

【連絡先】TEL03-5996-8003